

Viewアレルギー

ViewAllergy™

36の主要なアレルギーに対する特異的IgE測定が一度の少量の採血で出来る新しいアレルギー検査です。

NEW

36アレルギー



項目数

吸入系18種類+食餌系18種類と重要なアレルギーをバランス良く組み合わせました！

検体量

少量の血清 (0.9mL) で36項目のアレルギーの測定ができます！

データ

現在ご使用中のシングルアレルギー検査法と良好なクラス相関*を実現しました！

*本製品は6段階のクラス判定で結果をお返します。抗体価のご報告ではございませんので、ご注意ください。

吸入系 その他のアレルギー		食餌系アレルギー	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	小麦	小麦
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、アスペルギルス(コウジカビ)	果物	キウイ、リンゴ
真菌その他	カンジダ、マラセチア(属)、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉

*実際の診断には血液検査の結果だけでなく、詳細な問診、経口負荷試験などで総合的に評価する必要があります。
*多項目に陽性の結果が出るなど診断の難しい患者さんは専門の医師へ紹介するなど精査される必要があります。

食餌系アレルギーの青文字は表示義務・推奨食品に関連する項目です

Thermo
SCIENTIFIC

アレルギー性疾患の原因アレルギーは1つとは限りません！

真菌アレルギー： 空中真菌 と 皮膚常在真菌

空中
真菌

アスペルギルス

ぜんそくやABPA (アレルギー性気管支肺アスペルギルス症) の原因となるカビの1つであるアスペルギルス、特に *A. fumigatus* は、風呂場や水回りよりも、比較的乾燥に強いので、換気が悪い室内のハウスダスト、押入れ、靴箱などからも検出されやすい。

皮膚
常在真菌

マラセチア(属)

皮膚常在菌の1つであるマラセチアについては多くの菌種が分類されています。マラセチアの中でも *M. globosa*、*M. restricta* および *M. sympodialis* は、主要な菌種であるとともにADの病態への関与が強いと考えられています。

空中
真菌

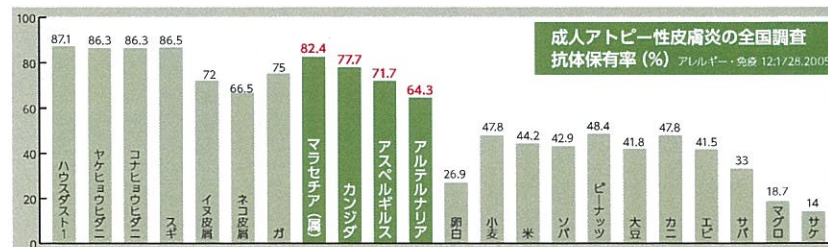
アルテルナリア

湿性環境に多く、木材、空中、土壌などに多く発生します。ぜんそく以外にアレルギー性鼻炎・結膜炎を引き起こす菌としても重要と考えられています

皮膚
常在真菌

カンジダ

消化管、口腔内などの粘膜および皮膚に常在し、特に成人のアトピー性皮膚炎の重症化に関与するといわれます。ぜんそくの原因アレルギーとなる場合もあります。



アスペルギルス、アルテルナリア、マラセチア(属)、カンジダ以外のシングルアレルギーで測定可能な真菌類
トリコフィトン(白癬菌)、クラドスポリウム、ペニシリウムなど

Viewアレルギーは現在ご使用中のシングルアレルギー検査法と良好なクラス相関*を示します。

*本製品は6段階のクラス判定とIndex値で結果をお返します。抗体価のご報告ではございませんので、ご注意ください。

さまざまな原因アレルギーが予想されるアレルギー性疾患には「Viewアレルギー」をご依頼ください

Viewアレルギー

※当項目の結果報告は、クラス及びIndex値となり、IgEシングルアレルギーと同一のUa/mL単位での報告は出来ませんのでご了承下さい。

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
0161	Viewアレルギー (View36)	血清	0.9mL	A1→A2	冷蔵	2~5	FEIA法	0.27未満 INDEX	D015-11	1,430	特異的IgE半定量・定量

*特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の検出ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定する。
※九州、沖縄地区の所要日数は3~6日です。

シングルアレルギーコードは検査案内をご参照下さい。

FALCO bio systems

thermoscientific.com/phadia

© 2014 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific Inc. and its subsidiaries. Manufacturer: Phadia AB, Uppsala, Sweden.

サーモフィsherサイエンティフィックグループ
ファディア株式会社

Thermo
SCIENTIFIC
A Thermo Fisher Scientific Brand

Viewアレルギー

ViewAllergy™

36の主要なアレルギーに対する特異的IgE測定が一度の少量の採血で出来る新しいアレルギー検査です。

NEW

36アレルギー



項目数

吸入系他18種類+食餌系18種類と重要なアレルギーをバランス良く組み合わせました！

検体量

少量の血清 (0.9mL) で36項目のアレルギーの測定ができます！

データ

現在ご使用中のシングルアレルギー検査法と良好なクラス相関*を実現しました！

*本製品は6段階のクラス判定で結果をお返します。抗体価のご報告はございませんので、ご注意ください。

吸入系 その他のアレルギー		食餌系アレルギー	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	小麦	小麦
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、アスペルギルス(コウジカビ)	果物	キウイ、リンゴ
真菌その他	カンジダ、マラセチア(属)、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉

*実際の診断には血液検査の結果だけでなく、詳細な問診、経口負荷試験などと総合的に評価する必要があります。
*多項目に陽性の結果が出るなど診断の難しい患者さんは専門の医師へ紹介するなど精査される必要があります。

食餌系アレルギーの青文字は表示義務・推奨食品に関連する項目です

Thermo
SCIENTIFIC

アレルギー性疾患の原因アレルギーは1つとは限りません！

屋外だけじゃない、屋内にも潜む昆虫アレルギー

ゴキブリ



夜行性で気温が25度以上になると活発化。通常は夏に繁殖するが、熱源のある場所では年間を通じてみられる。死骸や排泄物を吸入することにより気管支喘息、アレルギー性鼻炎を引き起こす。

ガ



屋外だけでなく室内でも発生し、ダニやスギに続いて高い特異的IgE陽性率を示す。屋外では樹木などに発生し、光(灯り)に誘引される。室内では穀類に発生する種(左・ノシメマダラメイガ、成虫で6-9mm)や衣類に発生する種(右・イガ、成虫で4-6mm)などがある。成虫の鱗粉や幼虫のフンがアレルギーの原因となる。

ユスリカ



湖沼や河川・用水路など水域で、春から初夏と秋に集中して発生。細かい塵となった死骸を吸入することでアレルギー性鼻炎や気管支喘息を発症。

昆虫以外の14種の吸入系アレルギー陰性の成人喘息患者50例において、昆虫アレルギーが実際は陽性の症例*

症例	A法 吸入抗原	イムノキャップ(抗体価クラス)				総IgE値
		ダニ	スギ	ガ	ゴキブリ	
1	陰性	2	3	2	2	1950
2	陰性	1	2	2	2	343
3	陰性	0	1	2	0	185
4	陰性	0	0	2	0	22
5	陰性	0	0	2	0	102

筑波大学呼吸器内科 提供

昆虫アレルギーを含まない多項目同時測定法において吸入系アレルギーが全て陰性であった成人喘息患者50例に、イムノキャップによる吸入アレルギー特異的IgE検査を実施。10例が何らかの吸入アレルギーに対してイムノキャップがクラス2以上の陽性であった。このうち5例においてガ、2例においてゴキブリがクラス2以上の陽性でした。

ALLAZIN2014 Summerより

こんなところに注意！ 昆虫アレルギー対策は [アレルギー情報室](#) から 検索

ガ、ゴキブリ以外のシングルアレルギーで測定可能な昆虫類

ユスリカ(成虫)、ハチ毒(スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ)

Viewアレルギーは現在ご使用中のシングルアレルギー検査法と良好なクラス相関*を示します。

*本製品は6段階のクラス判定とIndex値で結果をお返します。抗体価のご報告はございませんので、ご注意ください。

さまざまな原因アレルギーが予想されるアレルギー性疾患には「Viewアレルギー」をご依頼ください

Viewアレルギー

*※項目の結果報告は、クラス及びIndex値となり、IgEシングルアレルギーと同一のUa/mL単位での報告は出来ませんのでご了承ください。

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
0161	Viewアレルギー(View36)	血清	0.9mL	A1→A2	冷蔵	2~5	FEIA法	0.27未満 INDEX	D015-11	1,430	特異的IgE半定量・定量

*特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定する。
※九州、沖縄地区の所要日数は3~6日です。

シングルアレルギーコードは検査案内をご参照下さい。

FALCO bio systems

thermoscientific.com/phadia

© 2014 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific Inc. and its subsidiaries. Manufacturer: Phadia AB, Uppsala, Sweden.

サーモフィsherサイエンティフィックグループ
ファディア株式会社

Thermo
SCIENTIFIC
A Thermo Fisher Scientific Brand

View アレルギー

ViewAllergy™

36の主要なアレルゲンに対する
特異的IgE測定が一度の少量の採血で出来る
新しいアレルギー検査です。

項目数 吸入系他18種類+食餌系18種類と重要なアレルゲンを
バランス良く組み合わせました！

検体量 少量の血清 (0.9mL) で36項目のアレルゲンの
測定ができます！

データ 現在ご使用中のシングルアレルゲン検査法と
良好なクラス相関*を実現しました！

*本製品は6段階のクラス判定とIndex値で結果をお返します。抗体価のご報告ではございませんので、ご注意ください。

吸入系 その他のアレルゲン		食餌系アレルゲン	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	小麦	小麦
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ(属)、 シラカンバ(属)	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、 アスペルギルス(コウジカビ)	果物	キウイ、リンゴ
真菌その他	カンジダ、マラセチア(属)、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉

*実際の診断には血液検査の結果だけでなく、詳細な問診、経口負荷試験などで総合的に評価する必要があります。
*多項目に陽性の結果が出るなど診断の難しい患者さんは専門の医師へ紹介するなど精査される必要があります。

食餌系アレルゲンの青文字は表示義務・
推奨食品に関連する項目です

Thermo
SCIENTIFIC

アレルギー性疾患は様々な症状を引き起こし、 その原因物質は一つとは限りません！

たとえば...
食物アレルギーの特殊型である
OAS (口腔アレルギー症候群) は
花粉症症状の1つとも言えます

OASは花粉症に合併する疾患として知られます。これは花粉と果実などの食物に
含まれる類似した構造のタンパク質がアレルゲンとして働くためです。

OASの主な症状

食物摂取後15分以
内に発症または全
身症状を認めます

全身

- じんましん等の
皮膚症状
- 気管支喘息症状
- とくに
アナフィラキシー
ショック

局所

- くちくちびる、
のどなどの
口腔粘膜に
- かゆみ(痒感)
- ピリピリ・
イガイガ感
- はれ
(浮腫性腫脹)

花粉症の原因となる植物との 関連が報告されている食物

花粉症の原因となる植物	発症時期	花粉との関連性が 報告されている主な食物
ハンノキ シラカンバ	1~5月	リンゴ モモ メロン
スギ ヒノキ	2~5月	トマト
カモガヤ オオアワガエリ	4~10月	メロン スイカ キウイ
ヨモギ	8~10月	セロリ ニンジン
ブタクサ	8~10月	メロン スイカ

アレルギー・免疫 17(6)1031-108,2010 より

Viewアレルギー
では

主要な花粉抗原と
OASの
原因食物である
「リンゴ」「キウイ」が
同時に測定できます。

リンゴ、キウイ以外のシングルアレルゲンで測定可能なOAS関連項目

食物 モモ、メロン、トマト、スイカ、セロリ、ニンジンなどの果物・野菜類

Viewアレルギーは現在ご使用中のシングルアレルゲン検査法と良好なクラス相関*を示します。

*本製品は6段階のクラス判定とIndex値で結果をお返します。抗体価のご報告ではございませんので、ご注意ください。

さまざまな原因アレルゲンが予想されるアレルギー性疾患には 「Viewアレルギー」をご依頼ください

Viewアレルギー ※当項目の結果報告は、クラス及びIndex値となり、IgEシングルアレルゲンと同一のUa/mL単位での報告は出来ませんのでご了承下さい。

検査 コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬 区分番号	保険点数	保険記載 名称
0161	View アレルギー (View36)	血清	0.9mL	A1→A2	冷蔵	2~5	FEIA法	0.27未満 INDEX	D015-11	1,430	特異的IgE 半定量・定量

*特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の濃度ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に
採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定する。
※九州、沖縄地区の所要日数は3~6日です。

シングルアレルゲンコードは検査案内をご参照下さい。

FALCObio systems

thermoscientific.com/phaia

© 2014 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific Inc. and its subsidiaries.
Manufacturer: Phadia AB, Uppsala, Sweden.

サーモフィsherサイエンティフィックグループ
ファディア株式会社

Thermo
SCIENTIFIC
A Thermo Fisher Scientific Brand